

# 1.1 動体検知アラームの設定

方法:

1. カメラ管理の動体検知インターフェイスを開き、動体検知を設定したいカメラを選択します。

メニュー > カメラ > 動体検知



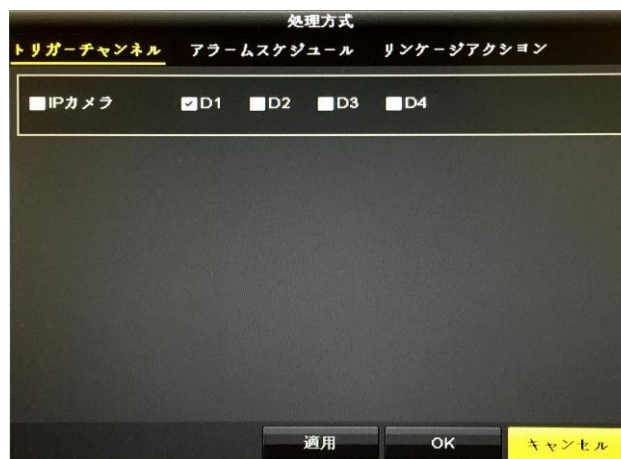
動体検知セットアップインターフェイス

2. 検知エリアと感度を設定します。

「動体検知を有効化」にチェックを入れ、マウスで検知エリアを描き、感度バーをドラッグして感度を設定します。

**※** ボタンをクリックしてアラーム反応アクションを設定します。

3. チャンネルを起動タブをクリックして、動体アラーム起動時に録画/キャプチャを開始するか全画面モニターにしたい1つ以上のチャンネルを選択し、適用をクリックして設定を保存します。



4. チャンネルの警戒スケジュールを設定します。

- 1) 警戒スケジュールタブを選択して、動体検知の処理アクションの警戒スケジュールを設定します。
- 2) 週内の曜日をひとつ選択して、最大8つの時間帯を各曜日内に設定できます。

- 3) 適用をクリックして設定を保存します



時間帯を繰り返したり重複させたりできません。

処理方式		
トリガーチャンネル	アラームスケジュール	リンケージアクション
週	月	▼
1	00:00-24:00	●
2	00:00-00:00	●
3	00:00-00:00	●
4	00:00-00:00	●
5	00:00-00:00	●
6	00:00-00:00	●
7	00:00-00:00	●
8	00:00-00:00	●

コピー 適用 OK キャンセル

動体検知の警戒スケジュールの設定

5. 処理方法タブをクリックして動体アラームのアラーム反応アクションを設定します（音声警告のチェックを外すとレコーダーからの音声は出ません。メール送信のみの目的なら、メール送信だけにチェックを入れてください。）
6. 他のチャンネルに動体検知を設定したい場合、上記の手順を繰り返すか、動体検知インターフェースのコピーをクリックするだけで、上記の設定をコピーできます。

## 1.1.1 Eメールの設定

### 目的:

アラームイベントが検知された場合や、アラームや動体イベント検知時、管理者パスワード変更時などに、すべての指定したユーザーにEメール通知を送信するように設定できます。

Eメール設定を行う前に、NVRがSMTPメールサーバーを管理するローカルエリアネットワーク（LAN）に接続されている必要があります。また、そのネットワークも、通知を送信したいEメールアカウントの場所に合わせたイントラネットやインターネットに接続されている必要があります。

### 方法:

1. ネットワーク設定インターフェイスを開きます。

メニュー > 設定 > ネットワーク

2. ネットワーク設定メニュー
3. IPv4 アドレス、IPv4 サブネットマスク、IPv4 ゲートウェイ、優先 DNS サーバーを設定します。

NICタイプ		100M Full-dup	
DHCP有効		<input type="checkbox"/>	
IPv4アドレス	192.168.1.12	IPv6 アド...	fe80::1a68:cbff:fea2:b6ba/64
IPv4サブネ...	255.255.255.0	IPv6 アド...	
IPv4デフォ...	192.168.1.254	IPv6 デフ...	
MACアドレス	18:68:cb:a2:b6:ba		
MTU (バイト)	1500		
DNSサーバーアドレスの...	<input type="checkbox"/>		
優先DNSサーバ			
代替DNSサーバ			
内部NIC IPv4アドレス	192.168.254.1		

ネットワーク設定インターフェイス

4. 適用をクリックして設定を保存します。
5. Eメールタブを選択してEメール設定インターフェイスを開きます。

サーバ認証...	<input type="checkbox"/>	SMTPサーバ	
ユーザー名		SMTPポート	25
パスワード		SSL/TLS...	<input type="checkbox"/>
差出人			
差出人アドレス			
宛先の選択	宛先 1		
宛先			
宛先アドレス			
画像添付有効	<input type="checkbox"/>		
間隔	2秒		

Eメール設定インターフェイス

6. 次のEメール設定を行います。

**サーバー認証を有効化 (オプション)** :チェックボックスを選択してサーバー認証機能が有効にします。

**ユーザー名**:SMTPサーバーに登録された送信者アカウントのユーザー名。

**パスワード**:SMTPサーバーに登録された送信者アカウントのパスワード。

**SMTPサーバー:**SMTPサーバーIPアドレスかホスト名（例:smtp.263xmail.com）。

**SMTPポート:**SMTPポート。SMTPに使用されているデフォルトTCP/IPポートは25です。

**SSLを有効化（オプション）:**SMTPサーバーが必要であれば、SSLを有効化するチェックボックスを選択します。

**送信者:**送信者の名前。

**送信者のアドレス:**送信者のEメールアドレス。

**受信者を選択:**受信者を選択します。最大3人の受信者を設定できます。

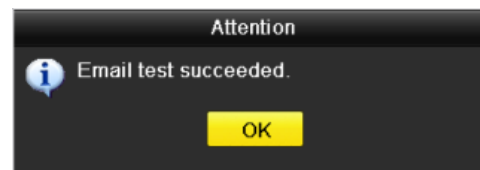
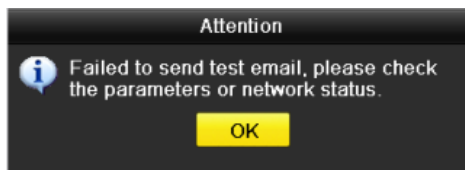
**受信者:**通知を受けるユーザーの名前。

**受信者のアドレス:**通知を受けるユーザーのEメールアドレス。

**添付画像を有効化:**アラーム画像を添付してEメールを送りたい場合、**添付画像を有効化**のチェックボックスを選択します。間隔は、隣接する2つのアラーム画像の時間です。ここでSMTPポートを設定してSSLの有効化も可能です。

**間隔:**間隔は、2件の添付画像送信のアクション間の時間を示します。

7. **適用**ボタンをクリックしてEメール設定を保存します。
8. **テスト**ボタンをクリックしてEメール設定が機能しているかテストできます。対応する注意メッセージボックスが表示されます。



Eメールテストの注意